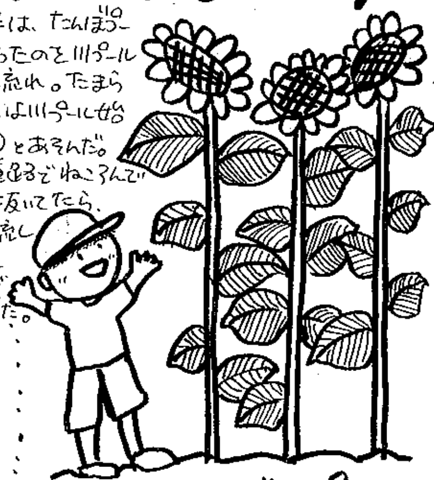
令和5(2023)年7月3日発行　第146号

こびとのおうちえんLetter

7月号

たんぼプールを満喫した6月の8日間。後半は、たんぼプールからの川プール。たんぼで体中ドロンコになったのを川プールで洗ってさっぱり～さらにおふろへGO!!という流れ。たまらなく気もちよい。　そして、たうえもおわり、いよいよ川プール始まる。さつまいもの苗うえのあと、かほ しょうま しお とあそんだ。泳ぎまくる3人。あ～なんと角きまった体とこころ。さむくなると道路でねころんであったまる。私がヤブマオのはっぱが木みたいに茂ってるのを何本も抜いてたら、「つりざおみたい。つりしよー!!」と3人が釣りをはじめた。はっぱを流して上からつりあげる。私は、たのしー!! そして たくさん釣った魚を かほ がさしみと天プラにしてくれるのだ。午後は、けいどろ軍団が眠のままとびこんでた。



☆7月のスタッフプラン☆☆

・海であそぼう!　・七夕のかざりづくり

18日(火)おべんとうのひ　～室積でおよごう～

※おべんとうの準備をお願いします

6月はこんなことしました

- ぐみとり
- じゃがいもほり
- びわとり
- カエル、イモリさがし
- カレーライス作り
- たんぼプール
- ケケセカり
- どろだんご作り
- 室積でおよぐ
- 大なわとび
- 恐竜公園へさんぽ
- ペープサート作り
- 梅の下漬け
- さつまいもの苗うえ
- メバルの下処理
- 鼓ヶ浦であそぶ
- ダム作り
- 年長児キャンプミーティング
- しいの木であそぶ
- なぎさ水族館にいく
- ヤマモモとり
- ビーチグラス工作
- スッポンさがし
- サッカー
- 田植え
- 大豆のたねまき
- 弓矢作り
- バナナおに、こおりおに
- 魚つりごっこ
- 川プール

etc…

＿＿＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。

7月のペアレンツグループ

13日(木) 13:00－15:00
場所　もみじの家
内容　あっおさんTIME
※参加の方は事前におしらせ下さい。当日でもOKです。

=おしらせとおねがい=

- 7/7(金)～8(土)は、年長児夏キャンプです。どんな2日間になるか みんなワクワクしてます。7/7(金)は、通常保育後からキャンプになりますので、年少、中児の親御さんは15:30までにお迎えをお願いします。時間に間に合わない方は、他の親御さんにあずかってもらうなどしてもらえたら助かります。ご協力お願いします。
- 夏休みは、8/11(金.祝)～20(日)です。
- ことちゃんが7/10(月)で、おうちえんを退園し　　島へ帰って生活を再開することになりました。さみしいですが、残りの日々じっくりすごしましょう。

山の広場の うた と けいご とのたき火は、ほんとに修業だった～。小雨もよう。まきが ほぼぬれている。今日は、なかなか火がつかなかった。以前 雨の日でも たき火に成功した経験がある うた。何回も何回も ついては消えるけど、「あきらめない!」と言ってずっとチャレンジしてた。その姿がすごくたくましかった! 今日は うた のたんじょうびだ。(6/2)

大なわとび。きんつま は、「ガーリックトースト!」と言いながら とんだり、くるくるまわりながらとんだり、自分で考えたとび方をいろいろためしてあそぶ。(6/4)

キッチンスタッフより

おうちえんのお昼ごはんは、嫌いなもの、嫌いそうに見えるものでも、とりあえずひとくちは食べてみる、という約束になっている。予想と違ってやっぱり好きだった、ということもあるからだ。

でも食べてみてやっぱり苦手だったというときは、自分からスタッフのだれかに、「これ食べられないから減らして」「苦手だからかわりに食べて」と言うと、近くに座っているスタッフがそれを食べる。嫌いでも全部食べないといけないとか、全部食べるまで遊べないとか、そんなことはしない。

しかし、一部の子ども達にとって難しいのは、「自分から」それを言うということだ。食べずに黙ってお皿のおかずをただかき回していたり、困った顔をしている。これでは伝えていることにならない。

もちろん慣れないうちは、スタッフのほうから声をかけることもある。「これ食べられない?」→こくんと頷く→「じゃあどうする?」→「(小さな声で)食べて」→「ん? はっきり言ってもらえる?」→「これ嫌いだから食べて」→「いいよ! もらうね」という具合に。自分から言い出せない子どもと、それを待ちながら声をかけるタイミングを計っているスタッフとの、心理的駆け引きのようになるときもある。

私も昔は、自分の感じていることを言えない子ども達の心を先読みして、その希望を叶えてあげるのが、いい大人の条件だと思っていたふしがある。自分もそれで「わかってあげられた」と満足できるし、子ども達も楽だ。

しかし、今の子ども達(私の子ども達みたいな大きな子ども達を含む)を取り巻く世界を観察していると、「自分の意見を持って、それを率直に伝えて(もちろん いつ、どのように言うかは重要)、相手の意見も聞くことができたら、たいていの問題は解決するんじゃないの?」と感じることがよくあるのだ。自分でやりたいことを考える機会が極端に少ないから、自分の意見そのものが分からない、また言いにくいことはすべてラインをはじめとするいわゆるSNSでしか伝えることができなくなっているから、直接人に言葉で話しかけるのは避けがち、というのが、今の若者の多くが持っている傾向だと私は思っている。でも心の中では「そうじゃないのに」「なんでわかってもらえないのか」と不満をつのらせて、落ち込んだり、最後には爆発したり。

着替え、片付け、重いものを運ぶ、高いところのものを取る。小さい子ども達にはできないことも多い。「できないから手伝って」そう素直に言えることは、意外に大事だ。もちろん、ここまでは本当はできるよねという大人の見極めは必要だろう。子ども達は本来、自立心にあふれていて、自分でやりたくて仕方がない人達だ。成長にしたがって、不必要な助けは求めてこなくなる。

それに大人でも、なんでも自分ひとりでできるわけじゃない。困ってるの、手伝って、教えて、と素直に言える人は同時に、子どもでも大人でも、周りの困っている人達に対して、責めたりせずに、いい塩梅で助けられる人でいられるのではないか。

もしかしたら、おうちえんの子ども達のほうが、私達の先生になってくれるかもしれない。

大下里香

ようこのちょこっとおうちえん日誌 ～日々のあれこれ～

メバルをたくさんいただいた。こどもたちと下処理をする。こんなにメバルをたくさん見るのは久しぶりだ。メバルの内臓を出す方法は、わりばしを使う。口の中にわりばしを入れて、エラぶたとエラの間から出してそれをお腹の奥まで差しこむ。もう片側りも。そしてわりばし2本をいっしょにぐるりとまわすと中がはずれた感触が!! はさんだまま引き出すときれいに内臓がとれるのです。これならこどもたちとやれてうれしい♪ やり方を見せて、やりたいといったのが かほ しょうま きんつま しお。やろう やろう!! てらこやの男の子たちも来て一緒に。こんな時間もうれしい。さて、かほ しょうま きんつま しお。最初はなかなか上手にといかず苦戦している。でも、だんだんコツをつかむと楽しくなってきたみたい。ずっとやりつづけてた。熱中!ね、これ楽しいのよ。私も好きなので。まもちいい～と何匹もやった。そして全部内臓出したところで、やっぱりウロコとった方がいいなということで段どりが逆になってしまったけど。4人はうろことりも。ペットボトルのふたが大に

→くっつけてあるのがキッチンにある。久々の登場。気に入ったようす。これまた楽しくて、ずっとやってる。真剣。そして全部洗って水分をとって1匹1匹数える。149!! かほ が忘れないように紙に書く。そして、てらこやの子たちにも知らせに行った。紙にカづよく 10049 とかいてある。まさに! かほ ひゃくよんじゅうきゅう にまちがいないぞ!! 次の日からあげでいただきました。(6/29)

ゆずき をドライブにさそった。ゆずき は、おにわで車であそぶのがすきだから一度遠出してみたかったのだ。私が。「行きたい!」と ゆずき。やったねー。ゆずき は自分の車をうんてんし、私も一輪車(ねこぐるま)を押しながら歩いた。どこまで行くかなぁー。椎の木の前まで来た。そしてぐるりと広い道から帰ってきた。途中、スイカ畑でちびスイカを見せてもらった。かわいい♡ しばらくすすんだら、「もう、うんてんできない」よくここまでうんてんしたねー! 私の一りん車にのっけてかえってきた。おうちえんについたら、しいの木まで行ったよ。と報告。「けっこう近かったよ。」だって! (6/14)